



**自動車産業を志向した
品質マネジメントシステムプロフェッショナル監査員育成研修
SEMINAR GUIDE OF TRAINING COURSE**

SGS TRAINING COURSES IN JAPAN Sep. 2022 - Jan. 2023

自動車産業を志向した 品質マネジメントシステムプロフェッショナル監査員育成研修

自動車産業向け QMS 規格 (IATF 16949) は自動車産業サプライチェーンに属する生産事業所における品質向上を目的としたマネジメントシステム規格です。当社の過去のセミナーでも何度かお伝えしている通り、この審査や内部で規格準拠を進めるプロフェッショナルが日本で不足している現状があります。

近年様々な品質不正の問題が頻繁にニュースとなり、危機感を感じている経営者、技術者の皆様も多いのではないのでしょうか。

本研修は、QMS 内部監査員や QMS 審査員、これらを目指す皆様のスキルを、より実践的なものとするを目的としたものです。全カリキュラムを修了された皆様が、IATF16949 の改善、有効な監査の実施及びお勤め先企業様内の監査員の育成指導を可能とするだけでなく、将来のステップアップとして IATF16949 審査員への挑戦もご検討中の皆様にもおすすめのコースです。当社の現役の IATF 16949 審査員チームが、自らが培った経験やノウハウを投入し、お届けいたします。

現在品質を担当されている方、またこれから目指す方も自動車品質マネジメントシステムと一緒に支えていきませんか？

※本研修は、過去に開催したものを、一部内容を刷新して実施するものです

●開催期間／開催日数：

- ✓ 開催日 2022 年 9 月 30 日～2023 年 1 月 27 日 全 13 日間(内訳:オンラインライブ 10 日間、画像視聴 3 日間)

●開催場所：

- ✓ オンラインライブ開催：Zoom (Zoom をご利用できる環境の方に限ります)
- ✓ 画像視聴：「Deliveru」配信サービスから視聴

●受講料：

- ✓ 税込 **¥275,000**(税抜価格 ¥250,000)／1 名 (全講義受講の方、テキスト、証書代 含む)

●受講対象：

- ✓ 自動車産業にて、以下の役割を担っている、または目指しており、より実践的な知識を身につけたい方
 - ・ 審査機関の審査員と同等の力量を有する、システム監査員、工程監査員、製品監査員、サプライヤ監査員(二者監査員)
 - ・ 上記の各監査員への指導者(トレーナー)
 - ・ IATF16949 審査員

●受講の前提となる知識：

- ・ ISO9001 及び／又は IATF 内部監査員(工程監査員・二者監査員含む)
- ・ 部門又は組織全体の品質マネジメントシステム運営に関する業務経験
- ・ 自動車産業のサプライチェーンで、設計、生産技術、製造、品質保証、購買のいずれかに携った経験、知識
《以下は、将来的に IATF 審査員になることを希望される方》
ISO9001:2015 審査員補以上の登録をされている。もしくは予定されている方

●全カリキュラム修了時に身につく能力：

- ・ 適合性監査のみならず、有効さを志向した監査を実施する
- ・ 被監査プロセスに潜在するリスクを特定する
- ・ 品質管理に用いられる各種ツールが理解でき、監査時にデータの特性や傾向に基づく予防の提案ができる
- ・ IATF16949 についての概念を身に着ける

●過去の参加者からご好評いただいた点

- ・ あらためて規格の詳細を理解することができた
- ・ 現役審査員講師の現場での対応状況を聞くことができた
- ・ オンライン受講でも、聞き取りやすく問題なく受講できた
- ・ ケーススタディをグループで討論することにより、実践的・効果的に理解することができた

—— 詳細は以下各講座をご参照ください ——

講座 1	ISO19011:2018	¥33,000/1人 (税抜価格 ¥30,000)	1日間 オンラインライブ
	<p>講座修了後の到達点:最新のマネジメントシステム監査ガイドラインが記載する、監査プログラムの管理(監査員の割当、評価、監査技法含む)と改善を理解し、実践可能とする。</p> <p>●開催日/開催場所: 2022年9月30日10:00~17:00/オンラインライブ</p> <p>●講義内容: (講義)監査プログラムの管理/プロセスアプローチ監査/タートル分析/パフォーマンス評価を志向したチェックリスト/客観的証拠への更なる検証 (演習)プロセス想定/事例に対するチェックリスト作成/複数の客観的証拠を用いた監査実施</p>		
講座 2	IATF16949:2016 (2つのCSR含む) /ISO9001:2015 差分解説	¥49,500/1人 (税抜価格 ¥45,000)	2日間 オンラインライブ
	<p>講座修了後の到達点:強い顧客志向の下、不具合の予防、ばらつきやムダの低減を目的として発行された自動車産業品質マネジメントシステム規格 IATF16949:2016 及び顧客固有要求事項(CSR)と ISO9001:2015 の差分を理解。設計・開発、購買、生産技術、製造、品質保証の各現場でより高いレベルでの監査実施を可能とする。</p> <p>●開催日/開催場所: 2022年10月13日~14日10:00~17:00/オンラインライブ</p> <p>●講義内容: (講義)IATF16949規格の目的、用語、プロセスとプロセスアプローチ/IATF16949規格(顧客固有要求事項=CSR含む)とISO9001規格の差分解説 (演習)設計活動のタートル分析/設計・開発プロセスフロー事例へのIATF16949規格の割当及び適合に必要な実施事項の特定</p>		
講座 3	プロセスアプローチ監査 事前課題有	¥33,000/1人 (税抜価格 ¥30,000)	1日間 オンラインライブ
	<p>講座修了後の到達点:監査中に示された客観的証拠や事象に対して、関連するプロセスを思い浮かべつつ、その事象(適合・不適合問わず)の発生原因まで遡っての評価(深堀検証=Audit Trail)実施を可能とし、改善事項の特定に結び付けることを可能とする。 (本講座は、講座1:ISO19011:2018の続編としての位置づけです)</p> <p>●開催日/開催場所: 2022年10月28日10:00~17:00/オンラインライブ</p> <p>●講義内容: (講義)有効性監査と適合性監査(有効性監査としてのデモンストレーション含む)/ものづくり企業を志向した有効性監査の実施/対象プロセスによって異なる有効性監査の方法例のご案内/有効性志向の監査前準備と深堀検証/有効性監査の手法、深堀検証=AUDIT TRAILの組立 (演習)事前課題「監査質問の掘り下げと監査結論の特定」グループまとめと発表/ケーススタディ「AUDIT TRAILの組立」</p>		
講座 4	APQP/PPAP	¥27,500/1人 (税抜価格 ¥25,000)	1日間・画像視聴
	<p>講座修了後の到達点:設計・開発プロセスにおける、コントロールプランを筆頭とする各種管理手段と、顧客仕様を正しく理解し、製造プロセスが顧客要求事項を満たす製品を一貫して提供する能力実証の必要性を理解。監査の現場で被監査プロセスがプロジェクトに対して適用しているAPQP及びPPAPの妥当性検証と改善点の特定を可能とする。</p> <p>●画像視聴期間: 2022年10月31日~11月13日</p> <p>●講義内容: 《画像視聴による学習※》 APQP:目的と狙い/APQPチーム/各段階(フェーズ1~フェーズ5)/コントロールプラン PPAP:目的と適用/PPAPプロセス要求事項/要求項目/PPAP要求項目(アイテム)/顧客通知及び顧客提出の要求事項/顧客への提出レベル/承認状態。 ※画像視聴…ご参加者各位が専用IDとパスワードを用いてURLにアクセス。テキストをダウンロードと戴き、パソコン又はスマートフォンを用いて一定期間内で画像を視聴。</p>		

講座5	FMEA	¥77,000/1人 (税抜価格 ¥70,000)	1日間・画像視聴 1日間・オンラインライブ
	<p>講座修了後の到達点: AIAG & VDA FMEA ハンドブック及び AIAG FMEA 第4版の双方を理解し、監査の現場で被監査プロセスの Design/Process FMEA 実施結果をリスク管理の観点から検証し、FMEA 実施能力を含めて改善点を特定できることを可能とする。</p> <p>●画像視聴期間: 2022年10月31日～11月13日</p> <p>●開催日/開催場所: 2022年11月22日 10:00～16:30/オンラインライブ</p> <p>●講義内容: <<画像視聴による学習>> AIAG & VDA FMEA ハンドブック:概要、設計 FMEA、工程 FMEA、モニタリング及びシステム応答に関する補完的 FMEA(FMEA-MSR)/AIAG FMEA 第4版:FMEA のステップ、評価基準:厳しさ(S)、発生頻度(O)、検出可能性(D)と RPN 算出、実施のタイミング、FTA <<現地研修時講義>> 画像視聴結果の振り返り <<現地研修時演習>> AIAG & VDA FMEA ハンドブック:工程 FMEA/AIAG FMEA 第4版:設計 FMEA</p>		
講座6	SPC	¥49,500/1人 (税抜価格 ¥45,000)	1日間・画像視聴 1日間・オンラインライブ
	<p>講座修了後の到達点: 被監査プロセスに見合った SPC の適用及び様々な管理手法を理解し、被監査プロセスが品質保証や改善に用いている統計的管理結果を検証し、工程能力の適切さ及び潜在的な不具合リスクの特定を可能とする。</p> <p>●画像視聴期間: 2022年11月24日～12月8日</p> <p>●開催日/開催場所: 2022年12月9日 10:00～16:30/オンラインライブ</p> <p>●講義内容: <<画像視聴による学習>> SPC の目的/複数の管理図と選択/統計値の計算/正規分布曲線の視覚的意味/サンプル分布と平均の偏りとバラツキ/共通原因/特別原因/一管理外れの定義/工程能力の計算 <<現地研修時講義>> 画像視聴結果の振り返り <<現地研修時演習>> 工程能力の計算/管理限界線の設定/管理外れの判断と対応/工程管理と計測器の関連/特別原因と共通原因について</p>		
講座7	MSA	¥33,000/1人 (税抜価格 ¥30,000)	1日間 オンラインライブ
	<p>講座修了後の到達点: MSA の目的である「測定システムの理解」、「測定システムの信頼性・測定値の信憑性を保証」、「測定システムの特性を分析し、必要な場合は改善」を理解し、何を測定するシステムかにより、適切な分析手法を選択することができるようになり、監査現場で被監査プロセスが選択している測定システムの適切性や各種測定データの誤差評価結果の検証と潜在的な不具合リスクの特定を可能とする。</p> <p>●開催日/開催場所: 2022年12月23日 10:00～17:00/オンラインライブ</p> <p>●講義内容: (講義)用語解説/バラツキの性格(位置/幅)/測定システムの良さの定義/測定システム調査/繰り返し性と再現性の解析/計数測定システム調査 (演習)基礎問題、応用問題</p>		
講座8	自動車産業 QMS 認証承認要求事項	¥66,000/1人 (税抜価格 ¥60,000)	2日間 オンラインライブ
	<p>講座修了後の到達点: 審査登録機関へ適用される認定基準に基づくカリキュラムの修了により、品質マネジメントシステム主任審査員と同等のレベルで、監査の運営と実施双方の基準を理解し、実践可能とする。</p> <p>●開催日/開催場所: 2023年1月12日～13日 10:00～17:00/オンラインライブ</p> <p>●講義内容: (講義)監査の原則(公平性の管理)/審査員の適格性確認/様々な種類の第三者認証審査とその目的/専門性に裏付けられた監査チームの編成/被監査プロセスの活動、製品、シフト有無等を考慮した監査時間(工数)の特定/監査計画立案/監査実施/監査報告書の作成/不適合の管理 (演習)サンプル組織に対して以下を実施/監査工数の算定、審査計画の策定/監査後の認証取得、維持のためのスケジュール管理</p>		

不適合の管理 (Nonconformity Management)

¥44,000/1人
(税抜価格 ¥40,000)1日間
オンラインライブ

講座修了後の到達点: 監査中に特定された不適合を、【講座 8: 自動車産業 QMS 認証承認要求事項】で得た知識に基づき、「重大」又は「軽微」な不適合へ分類、是正要求を受けた被監査プロセスの責任、監査運営側の責任、現地検証(フォローアップ)と処置の容認(クローズアウト)手法を理解し、実践することを可能とする。

●開催日/開催場所:

2023年1月27日 10:00~17:00/オンラインライブ

●講義内容:

(講義) 指摘所見の作成(3段記述法)/不適合の分類(重大/軽微)/不適合に対する被監査プロセスの責任(フォローアップ)/監査員による是正処置有効性の現地検証とクローズアウト
(演習) 不適合の記述(3段記述法)、Major/Minorの分類/是正処置の内容検証、効果確認

- 開催日の2週間前後に受講票及び請求書をメールでお送りいたします。
- 受講料は請求書に記載の期日までにお振込みください(発行日より14日以内)。不都合がございましたら事前にご相談ください。
- キャンセル料: 開催日より7営業日前~3営業日前 50%、2営業日前~当日 100%。
- 新型コロナウイルス感染拡大状況により横浜開催からオンラインライブ開催に変更する場合がございます。
- オンラインライブは Zoom を使用した研修になります。

お問い合わせ

各コースの開催日程・金額・内容等の詳細は、https://www.sgsgroup.jp/ja-jp/training-schedule/2023/01/iatf1_9-22sep_23jan をご利用ください。

また、各コースのお問い合わせ及び見積り依頼は、以下までお問い合わせください。

SGS ジャパン株式会社

認証・ビジネスソリューションサービス マーケティング&トレーニング

〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町 134 横浜ビジネスパーク ノーススクエア I

TEL : 050-3773-4526 Email : jpssc.tr@sgs.com HP : <http://www.sgsgroup.jp>